



RUNE NEWS

VOL.24

こんにちは！ルネの新商品情報やプロモーション活動など、最新情報をお届けする『RUNE NEWS』。営業活動にもお使いいただける情報をご紹介します。みなさまからのフィードバックもいただくと嬉しいです。



★水戸京成百貨店にて POP UP SHOPを開催いたしました★

REPORT

水戸の京成百貨店にて「Roots of Kawaii 内藤ルネ POP UP SHOP」を5月3日（水・祝）～9日（火）まで、2階エスカレーター前の特設会場にて開催いたしました。

期間中、雑貨やアパレル、ステーショナリーなどのグッズを多数展開いたしました。自分へのご褒美としての需要だけではなく、母の日のギフトとしても人気で Rune のファン層の広さを改めて実感できました。多くのお客様に足をお止めいただき、商品を手にとっていただくことができました。ご協力いただきました皆様、どうもありがとうございました。



←水戸京成百貨店で開催した「Roots of Kawaii」POP UP SHOP。ルネガールをはじめとするポップで可愛いイラストたちがひと際目をひきました。

★★Kawaii のルーツ内藤ルネワールドへ vol.1★★

PICK UP

私たちが毎日普通に口にしている“カワイイ”という言葉。これを生み出したのが昭和を代表するマルチクリエイターの内藤ルネでした。ルネが生活の中からどんな風にモノを捉えて、普段は見過ごされているモノからどんなふうなヒントを得てそれをデザインし、モノに命を吹き込んだかを、ルネのメッセージをご紹介しますことで、皆さまの商品化のヒントになればと思います、今後少しずつご紹介していきたいと思ひます。

—広告塔型クッキー入れ (1967年頃)の制作秘話—

「この中に大好きな人とじこめていたいですって!？」
フタの丸いところをこすって願いをかけると、アラジンの魔法のランプみたいに
思いどおりになるかもしれませんから、
あなたは絶対おどろかないこと。
でも、魔女を気取らず、クッキーを入れたり、
フタを取って花を入れましょう。
可愛くって、そのほうがいいじゃない。」
〈婦人生活社「服装」第11巻第8号、1967年〉



—トマトの赤—



「トマトの赤は底ぬけに明るくて、カリフォルニアの夕陽いろ。
赤いビニールや艶紙のような濡れた赤。
そっとキスしたくなる濡れた唇のようにセクシイな赤です。
西洋ではトマトを昔から愛のリンゴって呼んでいます。
LOVEという言葉がまさにぴったり。
そしてトマトは何かポップなカタチです。」
〈「婦人生活社 服装」第15巻10号、1971年〉

—愛するあなたに—

「あなたが彼と二人でいるとき、あなたがひとりぼっちで彼を想うとき、
僕のデザインしたこれらの恋の小道具があなたをいっそう幸せにできたら、
とても嬉しくおもいます」
〈婦人生活社「服装」第12巻第2号、1968年〉

